学 校 だ よ り

〈令和８年　６月３０日発行〉

明治３年３月３日創立

立川市立第一小学校

校　長　　菊池　修

【 学校教育目標 】

○　自分で考え　行動する子

◎　心豊かで　思いやりのある子

○　体をきたえ　元気な子

コミュニティ・スクール「家庭・地域とともに歩む教育活動の推進」

〒190-0023 立川市柴崎町２丁目 20 番３号

TEL　042－523－4428

042－522－2114（あおぞら学級）

FAX　042－529－0840

URL　https://www.tachikawa-edu.jp/es01/

学び続ける力

校長　菊池　修

現代は様々な技術の急激な変化だったり、気候の変動や災害などがあったりすることから世の中の変化を予測しにくい時代となっています。これから先の時代も、どのように変化していくのか予測が難しいことは続いていくと思われます。そんな時代の中で、子どもたちは個性を発揮し、主体的・創造的に生き、未来を切り拓くたくましい人間として生きていくことが求められています。

学校教育では、そんな時代を生きていくために「自ら学び続ける力」を身に付けることが必要です。自分自身が一番追究したいことを、自分に合った方法やペースで、自分で考え、工夫し、判断して、やってみて振り返るという学習活動を自ら進められる力が必要ということになります。そのためには、自分が追究したい課題を見付けられることができるか、自分に合った方法で考え、工夫し、判断し、振り返ることができるか、追究したい課題を解決し新たな課題に結びつけることができるか、ということが大事になってきます。それをできる力が「自ら学び続ける力」となります。

この力を身に付けるために、日常的に大事にしてほしいことがあります。子どもたちが日常的に見ているもの、聞いているものの中に、「！」だったり「？」ということがあると思います。何かを見たり聞いたりして、「そうか、こういうことなのか。」とか「こういうことがあるのか。」という「！」や、「〇〇って、どういうことなんだろう。」「なんで〇〇なんだろう。」という「？」を大事にしてほしいと思います。大人からしてみると、「そんなのあたりまえのことだよ。」ということがあるかもしれません。でも子どもからしてみると、その理由や仕組みがまだわからずに疑問をもつことが多いと思います。時と場合によりますが、子どもが疑問をもったら、すぐに答えてしまわずに、自分の方法で解決していくことができるといいと思います。調べたり試してみたりする方法はいろいろあると思います。もしかしたら、子どもが行うのには危険だったり困難が大きすぎたりすることもあると思いますので、そこは大人が助言してあげる必要があります。自分に合った方法というのがまだよくわからないことがあります。

そういった活動の積み重ねが、「自ら学び続ける力」に結びついていくと思います。学校の授業だけではすぐに身に付く力ではありません。学校でも、ご家庭でも周りの大人が意識してその機会を設けてあげることで付いていくものです。

これからの時代を自分の力で生きていく大事な力を育むために意識してみてください。